

第464回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答弁を求める者
1	2番 高子 秀明	<p>1. 白石市学校教育・保育審議会答申における学校再編に関して</p> <p>第463回白石市議会臨時会「行政報告」において、教育長から諮問を受けた白石市学校教育・保育審議会より学校教育及び幼児教育・保育のあり方について、小中学校教育に係る答申を受けた旨の報告の内容に、学校再編について審議会より提案されております。</p> <p>今後、本市の小中学校教育の方針を、学校再編を含めて示されることと考えますが、関連して以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 「白石市学校教育・保育審議会」は約1年4か月の審議を重ねたとの報告があったが、答申までの間に何度の審議会を開催したか伺う。</p> <p>(2) 審議会において、本市の「全国学力・学習状況調査」の結果に係る今後の課題を加味した学校再編の審議を進めてきたのか伺う。</p> <p>(3) 「地域とともにある学校づくり」を進める法律、地教行法（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）に基づいた学校運営協議会制度、コミュニティ・スクールについて、各地の事例を参考にし本市にとって最適であるからして導入を提案されていることと察するが、具体的な事例を基にコミュニティ・スクールについての見解を伺う。</p> <p>(4) 小中一貫義務教育学校と小中一貫小規模校の相違点を伺う。</p> <p>(5) 審議会からの答申を市民、保護者などへの説明及び意見聴取は、時間をかけ丁寧に行うことが重要であると考えます。今後、説明会のスケジュールとして、開催時期と開催方法を伺う。</p> <p>(6) 審議会答申の内容に「施設の老朽化」も視野に入れ審議された様子が見受けられるが、本市として新校舎建設もあり得るのか伺う。</p> <p>(7) 本年6月の地元紙によると、本市が新たに2026年度オープンを目指し整備を検討する全天候型の市民プールの候補地として、福岡中学校敷地内が浮上、市民も利用できる学校プールを基本とするとの報道があった。市と市教育委員会の幹部からなる検討委員会の市長への答申を受けての内容であるが、今回の</p>	市 長 教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	2番 高子秀明	<p>学校再編案との兼ね合いについて詳細を伺う。</p> <p>(8) 小中一貫校3校の設置場所が定かではない状況であると察するが、設置場所により児童・生徒の通学路や通学方法など、きめ細やかなフォローが必要と考える。おおまかにも計画があるのか伺う。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	11番 大内卓也	<p>1. 本市の廃校活用について</p> <p>本市にあります廃校施設の活用方法も地域改善点の一つです。上手く活用することができれば地域の活性化へとつながると考えます。今後の方向性につきまして質問いたします。</p> <p>(1) 例として旧白川中学校の活用に関してとします。旧白川中学校の今後の活用方法に関して、白川地区内では意見交換も行われておりますが、今後の活用方法に関しての所見を伺います。</p> <p>(2) 廃校の活用に2020年より締結をしました本市と仙台大学との包括連携協定が生かせると考えますが、所見を伺います。</p> <p>(3) 仙台大学関係者からのご意見の中に、ナイター設備やグラウンド整備などの設備に関するお話もありました。様々な団体等へ廃校活用のアプローチを実施していく場合、施設へのメンテナンスや老朽化の進んだ校舎をどのようにしていくかも考える必要があるかと存じます。その中で「廃校活用にあたっての国庫補助制度」も視野に入れられるのではと考えました。所見を伺います。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	1番 佐藤龍彦	<p>1. 子ども医療費助成の拡充について</p> <p>第459回定例会等で質問させていただいておりますが、前回の質問以降も保護者の皆さんやご家族から子ども医療費の助成対象の拡大を求める声が多く寄せられていることから質問いたします。子ども医療費助成は、子供の病気の早期発見、早期治療を促進し、健康の保持増進を図り、同時に子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることで、安心して子育てができる環境をつくることを目的とした制度となっております。本市においても平成28年10月から所得制限もなく、中学3年生、15歳の年度末まで医療費助成の対象が拡大されました。それから7年ほどの間に近隣の自治体は、さらに医療費助成の拡充を実施し、現在は県内の多くの自治体が高校3年生、18歳の年度末までを医療費助成の対象としております。現在、中学3年生、15歳の年度末までを医療費助成の対象としているのは、県内においては本市と仙台市のみとなっております。新型コロナウイルス感染症の影響も残り、また昨今の物価の高騰で、子育てをされている皆さんから、生活が大変だとの声も多く寄せられています。そこで、次の点についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 子ども医療費助成の対象を18歳まで拡充してほしいとの市民の声を本市はどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(2) 子ども医療費助成の対象を18歳まで拡充した場合、新たに増える対象者数と試算額について伺う。</p> <p>(3) 本市においても早期に子ども医療費助成の対象を18歳までに拡充することはできないのか伺う。</p>	市長
		<p>2. 本市の投票環境について</p> <p>先般、市議会議員選挙が実施をされましたが、その中で、市民の皆さんから、本市の投票環境について、ご意見等寄せられたことから質問いたします。本市も高齢化も進み、3人に1人が65歳以上となっております。今後は投票所に行くことすら困難となっている方もさらに増えていくことが予想されます。そこで、次の点についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 今回の市議会議員選挙において、投票環境について、市民の皆さんから寄せられた意見、要望等はあったのか伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	1番 佐藤龍彦	<p>(2) 投票所で事故(けが等)トラブル等があった場合の対応について伺う。</p> <p>(3) 高齢のため投票に支障がある方(視力が弱く字が書けない場合等)や障害のある方(車椅子等が必要な方)が投票する場合の対応について伺う。</p> <p>(4) 本市は今後、投票の向上を図っていくことも含め投票環境の改善をどのように考えているのか伺う。</p> <p>3. 市道の維持管理(除草)について</p> <p>市道の維持管理(除草等)について伺います。本市における市道の除草作業は、地域にもよりますが、年に数回実施されているとお聞きしています。先日、ある市民の方から地区内の市道周辺の草刈りを地域の住民で以前から実施してきたが、近年は住民が高齢となり、それに伴い足腰が弱り、また病気などの理由から、除草作業に参加する方が少なくなるなど、地域での除草作業が年々難しくなっているという声が寄せられました。そこで今回は市道の除草を中心に次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在、本市では市道の除草等維持管理について、どのように対応されているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の市道における除草等の環境改善に対する考えを伺う。</p> <p>(3) 自治会等が市道の除草等を実施した際に、燃料費等を支給するなど支援することは考えられないのか伺う。</p> <p>(4) 本市は今後、市道の除草等維持管理の対応についてどのように考えているのか伺う。</p>	市長
		<p>4. 本市の教育及び教員の労働環境について</p> <p>本市の教育及び教員の労働環境についてお聞きいたします。第456回定例会等で質問させていただいておりますが、前回の質問以降、本市の教員に対して、どのような労働環境改善の取組がされたのか次の点について質問いたします。</p> <p>(1) 現在、本市は教員の定数を満たしているのか伺う。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	1番 佐藤龍彦	<p>(2) 本市の教員の昨年度の残業時間について伺う。</p> <p>(3) 本市の教員の病休者数について伺う。</p> <p>(4) 現在、本市の教職員の労働環境で課題となっていることについて伺う。</p> <p>(5) 教職員の労働環境の改善に、今後本市はどのように取り組んでいく考えなのか伺う。</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	7番 佐久間 儀 郎	<p>1. 学校の不審者侵入防止対策について</p> <p>去る7月6日午後3時半頃、栗原市若柳小学校の校舎北側の通用口から学校敷地内に侵入した軽トラックが、児童4人をはねた殺人未遂事件を受け、宮城県教育委員会が仙台市を除く県内34市町村の幼稚園、小中学校で車の進入を防ぐ門扉や鉄製のポールなどが校門にあるかどうかを調べたところ、4割以上の学校が未設置で、車両が侵入しやすい状況だったことが地元新聞ほか各報道機関によって報じられました。</p> <p>また、事件後、全市町村教育委員会がバリケードの設置や校内の防犯マニュアルの改訂など侵入防止の対策を強化していること、門扉の新設を検討している市教育委員会もあったことが併せて報道されました。</p> <p>児童の命に別条はなかったことは不幸中の幸いでありましたが、児童・生徒、保護者や学校関係者はじめ多くの読者は、無差別に児童を襲ったとみられる想定外の事態に大きな衝撃を受けたと思います。</p> <p>そこで、学校の不審者侵入防止対策について、以下の点をお尋ねします。</p> <p>(1) 宮城県教育委員会に応じ、車両の進入を防ぐ門扉や鉄製のポールなどについて、市内の幼稚園、小学校、中学校について設置状況を調査されたと思いますが、その調査結果についてお知らせください。</p> <p>(2) 不審車両侵入防止策としては、まずカラーコーンやトラロープ等で閉鎖するなど簡易的な対策が先行すると思いますが、放課後児童クラブなどで出入りする親子、部活動する児童・生徒らの安全対策を図るためには、門扉や鉄製のポールなど恒久的な安全に向けた車止め設置が求められると考えます。他方「地域に開かれた学校」という観点もあると思います。こうした点も踏まえつつ、車止めの設置に係る市当局のお考えを伺います。</p> <p>(3) 宮城県教育委員会は、不審車両の侵入を防ぐための防犯マニュアルについて、急ぎガイドラインを作成して市町村教育委員会に提供すると発表しています。ガイドラインを参考に本市の防犯マニュアル作成の計画を伺います。</p> <p>(4) 不審車両に限らず、「不審者侵入」防止の観点からお尋ねします。文部科学省の資料によると、不審者侵入防止には登下校時以外の校門・通用口の施錠と来訪者管理の徹底が必要であるとしています。そのためには①校門・通用口、②校門・通用口から校舎の入</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	7番 佐久間 儀 郎	<p>口まで、③校舎への入口、の3段階にチェック体制を確立して常に侵入防止に備えること。そして、危機管理の面から不審者侵入への対応防止についてあらかじめ教職員での意識の共有を図るべきと指摘しています。不審者侵入防止に係る本市の取組をお聞かせください。</p> <p>(5) 不審者侵入防止策として警察や防犯協会等との連絡、連携が必要です。それには警察直通の非常通報装置の整備が有効ではないかと考えます。装置の整備は、児童・生徒、保護者または教職員の心理的な安心につながるとともに、不審者の学校侵入に係る心理的な抵抗感を高めることに資すると思われ、整備については「学校施設環境改善交付金」において補助対象となっています。この警察直通の非常通報装置の活用について、当局のご見解を伺います。</p>	市 長 教 育 長
		<p>2. 公立刈田総合病院の運営状況について</p> <p>市議会は、市立病院となり指定管理者制度を導入した公立刈田総合病院が、みやぎ県南中核病院や地域医師会との連携を深め、「地域医療を守る」ためのたゆまぬ運営をしているかを常に関心深く監督する重大な責務を担ったものと考えます。</p> <p>第462回6月定例会で同僚議員から、「公立刈田総合病院の運営状況について」の同様の質問がなされましたが、新年度から既に5か月経過していますので、改めて現在の運営状況について質問します。</p> <p>(1) 入院患者数、医業収益、救急外来、救急車による搬送受入れ実績などを伺います。</p> <p>(2) 6月定例会では、小児科医師、神経内科医師の退職が取り上げられましたが、公設民営化スタート時から、随時、外科、整形外科、麻酔科、婦人科等、各診療科医師が充実してきていると捉えています。医師が退職した診療科の現状とともに、今後充実する診療科や新たな診療科の予定があるのかを伺います。</p> <p>(3) 刈田総合病院案内によると、地域医療機関との連携を充実させることを目的に開設した「地域医療連携室」、これは事前予約制により、紹介元医療機関から専用の「患者連絡票兼紹介状」をFAX受信して、地域の医療機関より紹介された患者の検査や診療の予約の受付を担うとされています。現在までの稼働状況をお聞かせください。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	7番 佐久間 儀 郎	<p>(4) 「地域医療連携室」は、在宅医（かかりつけ医）、訪問看護ステーション、ケアプラン事業所などからの予約申込みを受けて、レスパイト入院（在宅医療を支えるための入院“介護家族支援短期入院”）を地域包括ケア病棟に受け入れるようですが、このレスパイト入院の受入れ状況をお聞かせください。</p> <p>(5) 市長は、6月定例会で空き病床についての構想を尋ねられ、「みやぎ県南中核病院との連携プランにより、入院ベットとしては使用できないが、今後、地域ニーズや住民サービスを最適化できるよう、多方面から検討していく」と答弁されています。これまでの検討状況をお聞かせください。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	13番 村上由紀	<p>1. 学力向上について</p> <p>小学6年生と中学3年生の全員を対象に 2007 年度から毎年実施している全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）について、文部科学省が令和5年度の結果を7月31日に公表しました。それを受け、県の教育委員会では、「仙台市を除く宮城県内の平均正答率は、全教科で平均を下回り危機感を募らせている」と発表しました。その一方で「市町村によっては仙台市の成績を上回る地域もある」と述べておりました。本市では、令和元年度に教育改革のため「学力向上プロジェクト」をスタートし、市独自の実力テストの導入や、英検・漢検・数検の受検者に対し受検費用の半額を補助するなど継続的に取り組まれています。子供たちの将来の可能性を広げるためには学校教育が大変重要であると考えます。そこで、本市の教育について質問いたします。</p> <p>(1) 本市の令和5年全国学力テストの結果について伺います。</p> <p>(2) 学力向上プロジェクトを令和元年度にスタートしてから令和5年度までの全国学力テストの結果の推移について伺います。</p> <p>(3) 県教育委員会では、県全体の課題として、特に算数・数学が低迷していること、また、記述式問題の正答率が低く、無回答率の高さが目立ったことなどを指摘し、課題解決のためには「小学校低学年からの学習の積み重ねが非常に重要」と述べています。本市としてはどのような課題があり、今後どのように改善していくのかを伺います。</p> <p>(4) この調査では、生活・学習習慣アンケートも合わせて実施されていますが、本市のアンケート結果の分析を伺います。</p> <p>(5) 学力テスト及びアンケートの結果を踏まえ、白石市が目指すべき教育の在り方について伺います。</p>	教育長
		<p>2. 学校再編について</p> <p>第463回臨時会の行政報告にありました、現在の小学校10校、中学校5校を、小中一貫義務教育学校1校・小中一貫小規模校1校・小中一貫不登校特例校1校の3校に再編する答申を受けたことについて質問いたします。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	13番 村上由紀	<p>(1) 本市児童・生徒の現状と予測を伺います。</p> <p>(2) 現在、通学している子供たちにとっても、また地域住民にとっても重要なことですので、3校に再編するのは、率直に何年後が望ましいと考えているのか伺います。</p> <p>(3) 校舎について、既に候補地が挙がっているのかを伺います。</p> <p>(4) 地域のシンボルでもある学校がなくなるということは、地域に若い世代が段階的に少なくなり、高齢化社会に拍車をかけ、ひいては白石市の人口減少につながるのではと懸念されるが、このことについて市長の考えを伺います。</p> <p>(5) 学校は地域住民の一時避難場所としての重要な役割を担っているが、再編された場合、多くの学校が廃校となり、避難場所としての機能が失われると懸念されるが、防災機能の観点から、このことについてどうお考えか伺います。</p> <p>(6) 避難場所として現存を考えるのであれば、廃校後の校舎並びに校庭等の維持管理について、どのようにお考えか伺います。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	12番 佐久間 順子	<p>1. 未就学の発達障害の支援について</p> <p>白石市では、令和6年度から6か年を計画期間とする「障害者計画」、3か年を計画期間とする「障害福祉計画」及び「障害児福祉計画」を策定し、障害の有無によって分け隔てなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する「地域共生社会」の実現を目指していることと存じます。</p> <p>特に、障害を持つ子供の子育ては、子供が成長する過程で、発達の遅れや障害の疑いを感じた時、保護者としては不安や悩みを強く抱きます。</p> <p>生まれつきの脳機能の障害が原因とされる発達障害等は、その症状が低年齢で発現することが多いとも言われております。</p> <p>(1) 低年齢で発現することが多い発達障害については、早期の発見、早期に支援することにより、その症状は改善し、周りの環境に適応する力を伸ばせるものと認識しております。白石市において、発達障害の早期の発見方法、そして発見した時の早期の支援について、子供や保護者へどのように行っているか伺います。</p> <p>(2) 発達障害は親の育て方や本人の努力不足でなるものではありません。物事の見え方や捉え方が異なるため、とても得意なことがある反面、ちょっとしたことがすごく苦手という偏りがあるお子さんもいます。小学校の就学にあたり、発達障害等を抱える子供の就学支援、その後の特別支援教育について、白石市の対応を伺います。</p> <p>(3) 障害者の支援策の一つに、障害者手帳の制度があり、様々な支援が受けられます。しかしながら、発達障害等を抱える子供の中には、障害の程度により、手帳が該当しない子供がいると聞いております。白石市において、障害者手帳が該当しない場合の子供の福祉サービスについて伺います。</p> <p>(4) 障害を抱える子供の支援については、本人だけでなく、家族も含めて、早い段階で、その支援の充実が重要と考えております。今後の障害児施策について、課題もあるかと思いますが、市長の見解を伺います。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	6番 大森貴之	<p>1. 市・施設防犯カメラの増設について</p> <p>現在、防犯の観点から、企業や個人の家屋、公共施設においても防犯カメラの設置が行われており、本市においても各所で実施されております。</p> <p>防犯カメラの意義は主に2つあり、1つはトラブルやアクシデントが発生した際、カメラに何らかの記録が残されている可能性があり、犯人を特定できたり、重要な証拠につながるケースがあること。2つ目は犯罪の予防であり、「防犯カメラが設置されている」という事実だけで、不審者の犯行を抑制できることです。</p> <p>犯人としては証拠を残したくないという心理が働き、カメラを設置しているだけで「ここではやめよう」「ここでは何もできない」とプレッシャーを与えて、トラブルやアクシデントの予防につながっているものと考えます。</p> <p>(1) 本市においても、庁舎内をはじめ要所要所に防犯カメラが設置されてはおりますが、これまでの運用実績についてお伺いします。</p> <p>(2) 市役所本庁舎内の設置台数、設置箇所で十分とお考えかお伺いします。</p> <p>(3) 過日、近隣自治体の庁舎内駐車場において車両の当て逃げ事故が発生しましたが、そこでは防犯カメラの設置がなく状況確認ができなかったため、車の修理代は被害者の全額負担となりました。市役所本庁舎前駐車場の防犯カメラ設置を確認しておりますが、不十分と考えます。ご見解をお伺いします。</p> <p>(4) 城下広場駐車場において防犯カメラ設置を確認しておりますが、設置箇所の選定理由をお伺いします。</p> <p>(5) 白石市健康センター等の、他の市・関連施設での設置状況をお伺いします。</p> <p>(6) 防犯カメラを設置したことにより、不法投棄の防止や家屋等へのいたずら防止につながっていることが設置の効果として多く取り上げられております。</p> <p>庁舎内における防犯カメラの設置は、出入りする市民をはじめとする利用者の安全と、施設等の財産及び職員の身を守るためにも重要であります。より効果的な運用をするためにも、設置箇所の検討も含め、増設の必要性を強く要望するものですが、ご見解をお伺いします。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	10番 角張大治	<p>1. 今後の本市の行財政運営について</p> <p>本市の令和5年度予算を見ると、一例として文化体育活動センター費の予算が1億3269万1千円となっておりますが、一方で、一般会計・基金からの繰入れがあるにもかかわらず、令和5年度から国民健康保険税の税率を引き上げざるを得ないほど、国保財政はひっ迫しております。また、前年度には給食費の引上げが検討された経緯もあります。</p> <p>(1) このような状況であることから、今後は市民生活に直接影響がある施策のさらなる充実を図るべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	市長
		<p>2. 白石市スポーツ・レクリエーション施設個別施設計画について</p> <p>本計画の評価結果における「今後の利用見込み」について、6施設のうち5施設で「増加・横ばい」という結果が出されています。本市や近隣自治体の人口減少が想定される中、以下の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 評価結果の算出方法</p> <p>(2) 各施設で基準とした利用者数</p> <p>(3) 来年度の利用者数の見込み</p> <p>(4) 何年先まで「増加・横ばい」で推移する見込みなのか</p> <p>(5) 「増加・横ばい」とするための具体的施策</p>	市長
		<p>3. 市所有公共施設の方向性について</p> <p>白石市スポーツ・レクリエーション施設個別計画の市民アンケート調査結果によりますと、「おもしろい市場」「公民館」以外の全ての施設の利用状況について、「年数回程度」と「利用していない」の合計が90%を超えています。また、「将来の世代に負担を強いることのないよう、公共施設の役割や利用実態を検証した上で、財政状況に見合うように減らすことも考えるべき」と回答した方が74.4%となっています。</p> <p>(1) 人口増加を想定した今までどおりの制度や仕組みではなく、変わるべきは制度や仕組みの方だと考えます。市民アンケートを尊重するのであれば、何らか</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	10番 角張大治	の見直しも必要かと考えますが、市長の見解を伺います。	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	8番 四 籠 英 夫	<p>1. 新議会に対する市長の所感と期待について</p> <p>(1) 7月23日に市議会議員一般選挙が執行され、初めての議会が開催されました。市民の信託を受けた16名の議員が選ばれましたが、この新しい議会に対する市長の所感を伺います。</p> <p>(2) 新しい議会にどのような期待をされるか伺いたします。</p> <p>(3) 新しい議会とどのような連携を図り、どのような市政運営を行っていくお考えか伺います。</p>	市 長
		<p>2. 市民プールの新設について</p> <p>今年の夏は例年以上に暑さが厳しく、連日猛暑日が続く中、熱中症などで体調を崩す方が出るなど大変な状況が続きました。こうした中、夏休み中の児童・生徒のプールの使用状況はどうだったのか心配されます。福岡中学校と小原小中学校では、設備の故障などで、市内の民間プールで授業を行ってきました。このほか深谷小学校は設置後60年が経過し、施設の老朽化によりプールの使用をやめるとのことです。スパッシュランドしろいしは今年の3月に休館となっており、対応に苦慮されているものと思います。</p> <p>そこで、こうした状況を踏まえて次の点について伺いたします。</p> <p>(1) 今年の夏の各学校のプールの利用状況を伺います。</p> <p>(2) 民間プールを利用した回数と、児童や学校の受け止め方はどうだったのか伺います。</p> <p>(3) 民間プールの利用にも限界があり、本市独自の建設が必要と思いますが、お考えを伺います。</p> <p>(4) 独自建設の場合の規模、運用の方法について伺います。</p> <p>(5) 建設予定地の候補は検討されているのか伺います。</p> <p>(6) 専門的見解を取り入れた検討委員会などの設置も必要と思いますが、見解を伺います。</p> <p>(7) 先進地の事例も参考になるとは思われますが、所見</p>	市 長 教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	8番 四 籠 英 夫	を伺います。 (8) 建設費用は多額になると思われませんが、どのような調達計画をお考えかお伺いいたします。	市 長 教 育 長
		<p>3. 小中学校の統合について</p> <p>本市教育委員会が設置した第三者委員会「市学校教育・保育審議会」が、今後10年間で市内の小中学校15校を小中一貫の中規模校、小規模校、不登校特例校の3か所に再編する答申案の作成を進めていることが報道されました。これは、少子化が進行する中で、学校の統合を繰り返すより長期的な視点で再編した方がいいとの見解だったとのこと。生徒数はここ12年間で、小学校が562人減の1,279人、中学校が217人減の756人と減少しています。200人前後だった出生数も、5年間で100人台前半まで落ち込んでおり、10年後には各学年100人程度となると見込まれています。こうした状況から答申がなされるものと思いますが、次の点について所見を伺います。</p> <p>(1) 答申は7月24日になされておりますが、答申に対して、本市としてどのように受け止めておられるか所見を伺います。</p> <p>(2) かなり大幅な再編答申案と思料されますが、PTAや地域の理解を得るための方策について伺います。</p> <p>(3) 通学手段等についても検討が必要だと思っておりますが所見を伺います。</p>	教 育 長